

## 2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 1 月 23 日作成)

小委員会名	大振幅予測地震動小委員会	主 査 名：土肥 博 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：長島一郎
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	大振幅地震動に対する建物応答評価と設計法の検討 初年度：南海トラフおよび相模トラフの巨大地震の断層モデル作成 2 年度：南海トラフおよび相模トラフの巨大地震の地震動予測 3 年度：予測地震動に対する地盤と建物の応答評価。大会 PD の実施 4 年度：上町断層、南海トラフ、相模トラフの地震動に対する設計法の試案 シンポジウムの実施	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 主査：土肥博 (NTTファシリティーズ) 幹事：石原直 (建築研究所)、西澤崇雄 (日建設計) 委員：石井透 (清水建設)、上林宏敏 (京都大学)、岡野創 (千葉大学)、永野正行 (東京理科大学)、林康裕 (京都大学)、司宏俊 (東京大学)、土方勝一郎 (芝浦工業大学)、糸井達哉 (東京大学)、宮腰淳一 (清水建設)、壇一男 (清水建設)、久家英夫 (竹中工務店)、白井和貴 (北海道大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	南海トラフ地震 WG：南海トラフ地震の地震動予測と建物応答評価 相模トラフ地震 WG：相模トラフ地震の地震動予測と建物応答評価	
2017 年度予算	330,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	1. PD：免震・制振技術の現状と将来展望 — 大振幅地震動を見据えて (大振幅地震動を紹介) 参加者 438名 『構造部門(振動)パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 最新の地震動予測技術の調査 2. 相模トラフ、南海トラフの想定断層モデルの作成
委員会活動の問題点・課題	1. 他小委員会との連携活動 2. 小委員会と 2 つの WG 間の情報共有